

採用ブランド調査 2002〈速報〉

(旧大学生の人気企業調査)

株式会社リクルート

リクルートグループでは1962年(昭和37年)以降、「大学生の人気企業調査」を実施してまいりました。97年には、大学生の企業選択の視点と企業の採用力の関係を知るべく「企業イメージ調査」へと変更し、今回「採用ブランド」という新たな概念を設定。大学生の会社選びの構造を明らかにする目的で「採用ブランド調査」として設計変更を行い、調査を実施いたしました。

調査結果の速報がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。

☆☆大学生の企業選び「やりたい仕事と正当な評価」を最も重視☆☆ ☆☆一方「ブランドや知的資産」の重視度合いは低い☆☆

●大学生の企業選びについて、採用ブランドを構成する12項目(3ページ参照)の視点で調査したところ、「やりたい仕事と正当な評価」が最も重視されるという結果となり、得点も圧倒的な高さを見せた。次いで「戦略・ビジョン」、「職場風土・通勤の利便性」、「人脈の形成」、「人材や経営者」と続いている。

●一方、「ブランドや知的資産」、「責任ある仕事や社会に影響のある仕事」、「施設・設備」などの項目は、重視の度合いが低いという回答であった。

☆☆☆☆就職志望企業順位では、トヨタ自動車が初のトップ☆☆☆☆

●97年以降着実に順位を上げてきたトヨタ自動車が、就職志望企業順位で初めてトップの座を獲得。自動車メーカーがトップの座に着いたのは62年の調査開始以来初である。高く評価された項目は「戦略・ビジョン」や「業績」など、主に企業力の面であった。5年連続首位であったソニーは、電機・電子メーカー全体が振るわないことも影響して7位へと後退した。製造業では自動車メーカーの健闘が目立つ結果となった。

●他の業界では、広告代理店や出版社、旅行関連業界、総合商社などが順位を上げている。再編が進む金融業界においては、いわゆるメガバンク、損害保険の人气が復活し、証券、生命保険は不調。また通信業界の低迷が顕著に見られた。

☆☆メーカーは「企業力」、非メーカーは「仕事・待遇」で高い得点を獲得☆☆

●就職志望の上位企業の採用ブランドの要素に着目すると、「業績」や「戦略・ビジョン」の評価が高いトヨタ自動車や「施設・設備」の評価が高い日本アイ・ビー・エムがあげられる。また本田技研工業は「人材や経営者」「ブランドや知的資産」が高く評価されている。このようにメーカーは採用ブランドの企業力の側面が高く評価されている。一方「責任ある仕事や社会に影響のある仕事」「人脈の形成」「職場風土」で評価の高い電通や博報堂、「やりたい仕事と正当な評価」などで評価の高い集英社、「雇用の安定と高い給与」で評価が高い東日本旅客鉄道などのように、非メーカーは仕事・待遇の側面が高い評価がされている。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

調査概要

調査目的	2003年3月卒業予定の大学生の企業に対するイメージと職業観を把握し、関係各位の参考にする
調査対象	2003年3月大学卒業予定者（調査時3年生対象）で <u>リクルートナビ</u> に登録しているユーザー 40万3190人（調査時点）
有効回答数	1万6964人（回収率4.2%）
調査期間	2002年2月18日～3月1日
調査方法	対象者に電子メールで調査を告知し、弊社調査用ホームページ上で回答
調査内容	就業意識 企業選択の視点 / 12項目 23分類 就職志望企業（第1志望 / 第2から第5志望まで） 志望企業の評価 / 12項目 23分類 就職したい企業名を想起し、自由記述で回答（第1志望から第5志望までの合計5社複数回答） 企業選択の視点、志望企業の評価は各分類を5段階で評価を記入

集計サンプルの内訳（人）

	文系	理系	合計
男性	6001	3165	9166
女性	6564	1234	7798
合計	12565	4399	16964

採用ブランドとは

- ・ワークス研究所では、「業績が高いこと」や「戦略・ビジョンが優れていること」「やりたい仕事ができる（できそうだ）こと」など、学生が持っている様々な企業のイメージの総和を『採用ブランド』と捉えている。
- ・イメージの測定にあたって、12項目23分類（次頁中央の表参照）に整理し、これを採用ブランドの基本構造とした。
- ・本調査では以下の3点を聞き取り分析している。
 - 企業選びにおいて、どの項目（12項目23分類）を重視するのか（3P）
 - 志望企業はどこであるか（複数回答で第5志望まで）（4P、9P～）
 - 志望企業にどんな評価をしているのか（5P～8P）

リクルートナビについて

リクルートナビはリクルートが開設しているインターネットによる大学生と大学院生のための就職情報サイトを指す。会員は自身のデータを自主的に登録（無料）することで、「最新の採用関連ニュースや就職活動情報」などのサービスを受けることができる。登録者は来年（2003年）3月卒業予定の学生で、その人数は調査時点で40万人を超えており、民間企業へ就職を希望する学生のほぼ全員が登録している。
リクルートナビのURLは <http://www.recruitnavi.com/>

外資系企業の定義

本資料で掲載している外資系企業は、『外資系企業総覧 2001』（東洋経済新報社 2001年発行）により、外資比率25%以上の企業を対象としている。

1. 企業選びの重視項目

大学生の企業選びは「やりたい仕事と正当な評価」を最も重視
一方「ブランドや知的資産」の重視度合いは低い

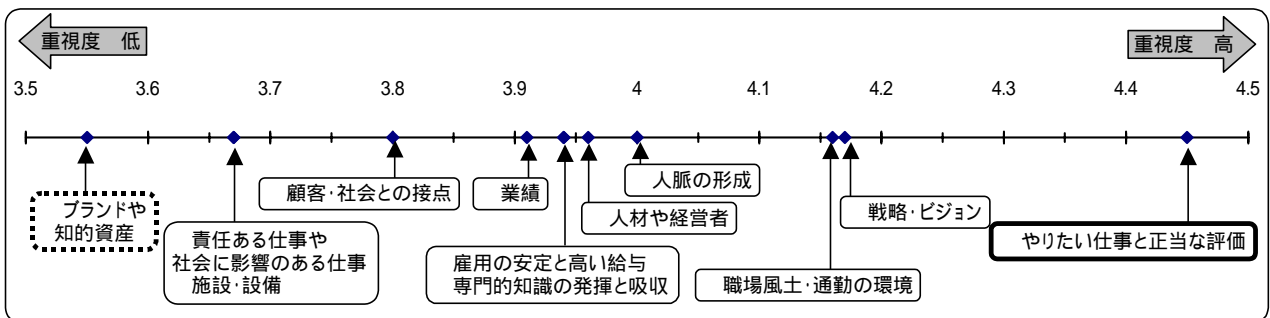
「やりたい仕事と正当な評価」を最も重視しており、得点は4.45、続く「戦略・ビジョン」の4.17、「職場風土・通勤の利便性」4.16 に大きく水をあけての重視度である。ついで「人脈の形成」(4.00)、「人材や経営者」(3.96)、「雇用の安定と高い給与」(3.94)の順となる。

一方、重視の度合いが低いのは、「ブランドや知的資産」(3.55)、「責任のある仕事や社会に影響のある仕事」(3.67)「施設・設備」(3.67)などであり、仕事を軸に企業選びをする大学生の姿が浮かび上がる。まずやりたい仕事ありきで選択し、それが可能な企業同士を比較検討していく様子が伺われる。

企業選択の重視点（採用ブランドを測定する12項目23分類の構造に基づく）

企業力				仕事・待遇			
12項目		23分類		12項目		23分類	
戦略・ビジョン	4.17	企業戦略やビジョンがすぐれている	4.17	雇用の安定と高い給与	3.94	雇用の安定している	3.95
業績	3.91	順調に業績を伸ばしている	4.01	やりたい仕事と正当な評価	4.45	給与・福利厚生など待遇がよい	3.94
		売上げや利益が高い	3.81			仕事の成果や業績が正当に評価される	4.31
施設・設備	3.67	工場等の設備や研究所等の施設が充実している	3.49	専門的知識の発揮と吸収	3.94	自分がやりたい仕事ができる	4.59
		職場が美しく快適である	3.85			仕事や研修を通して専門的知識や技術が身につく	4.20
人材や経営者	3.96	経営者が魅力的である	4.00	責任ある仕事や社会に影響のある仕事	3.67	自分の経験・専門が生かせる	3.69
		優秀な人材が多い	3.92			世の中に影響を与える仕事ができる	3.93
顧客・社会への接点	3.8	たくさんの優良顧客を持つ	3.60	人脈の形成	4.00	責任のある仕事をまかせてもらえる	3.89
		社会や地域に貢献している	4.00			家族・友人などに今の会社に勤めていることを自慢できる	3.19
ブランドや知的資産	3.55	技術や特許など、多くの知的資産を持っている	3.51	職場風土・通勤の利便性	4.16	仕事を通して幅広い人脈形成ができる	4.00
		企業そのものや商品がブランドとして広く認知されている	3.59			職場に活気がある	4.43
						通勤に便利な勤務地である	3.88

各項目の重視度の高低（5段階評価の平均点）



2. 就職志望企業順位

複数回答(第1～第5志望)による就職志望企業順位 全体:上位100位以内(N=16964)

順位	昨年 順位	企業名	票数	シェア (%)	順位 変動
1	3	トヨタ自動車	739	4.36	2
2	10	ジェイティービー(JTB)	722	4.26	8
3	13	博報堂	697	4.11	10
4	2	本田技研工業	658	3.88	2
5	5	電通	619	3.65	-
6	15	講談社	561	3.31	9
7	1	ソニー	545	3.21	6
8	14	日本航空(JAL)	535	3.15	6
9	9	日本放送協会(NHK)	493	2.91	-
10	8	サントリー	491	2.89	2
11	21	朝日新聞社	479	2.82	10
12	12	ベネッセコーポレーション	448	2.64	-
13	18	東京三菱銀行	447	2.63	5
14	24	集英社	444	2.62	10
15	19	全日本空輸(ANA)	437	2.58	4
16	20	積水ハウス	429	2.53	4
17	29	東日本旅客鉄道(JR東日本)	387	2.28	12
18	32	三井住友銀行	367	2.16	14
19	10	日本電気(NEC)	358	2.11	9
20	7	日本アイ・ピー・エム	352	2.07	13
21	27	東京海上火災保険	337	1.99	6
22	4	NTTドコモ	333	1.96	18
23	28	東海旅客鉄道(JR東海)	320	1.89	5
24	52	西日本旅客鉄道(JR西日本)	315	1.86	28
25	73	日産自動車	313	1.85	48
26	17	資生堂	306	1.80	9
27	44	伊藤忠商事	283	1.67	17
28	34	エイチ・アイ・エス	275	1.62	6
29	40	UFJ銀行	265	1.56	11
30	25	富士通	256	1.51	5
30	77	明治製菓	256	1.51	47
32	55	麒麟ビール	255	1.50	23
33	55	凸版印刷	254	1.50	22
34	6	松下電器産業	253	1.49	28
35	40	三井物産	251	1.48	5
36	39	三菱商事	238	1.40	3
37	69	ミキハウス	232	1.37	32
38	61	住友商事	229	1.35	23
39	85	東急エージェンシー	224	1.32	46
39	215	ぴあ	224	1.32	176
41	36	アサヒビール	223	1.31	5
42	40	キヤノン	222	1.31	2
43	23	P&G	217	1.28	20
44	37	NOVA	214	1.26	7
45	956	アミューズ	213	1.26	911
46	-	損害保険ジャパン	206	1.21	-
47	34	みずほフィナンシャルグループ	204	1.20	13
48	33	野村證券	197	1.16	15
48	65	リコー	197	1.16	17
50	107	良品計画	191	1.13	57

順位	昨年 順位	企業名	票数	シェア (%)	順位 変動
51	122	高島屋	188	1.11	71
51	61	ギャガ・コミュニケーションズ	188	1.11	10
53	82	大日本印刷	187	1.10	29
53	69	デンソー	187	1.10	16
55	59	サントリーフーズ	186	1.10	4
56	82	全国朝日放送(テレビ朝日)	180	1.06	26
57	68	バンダイ	178	1.05	11
58	50	富士重工業	176	1.04	8
59	52	ジェーシービー	173	1.02	7
60	84	味の素	172	1.01	24
61	113	日清食品	170	1.00	52
61	66	三井不動産	170	1.00	5
63	146	カゴメ	169	1.00	83
64	71	オリエンタルランド	167	0.98	7
64	30	近畿日本ツーリスト	167	0.98	34
64	22	アクセンチュア	167	0.98	42
67	50	マガジンハウス	166	0.98	17
68	72	伊勢丹	165	0.97	4
69	155	ファイザー製薬	164	0.97	86
70	198	中央出版	162	0.95	128
71	49	旭化成ホームズ	161	0.95	22
71	155	トリンプ・インターナショナル・ジャパン	161	0.95	84
73	88	大和ハウス工業	159	0.94	15
73	-	ジェイフォン	159	0.94	-
73	85	スターバックス コーヒー ジャパン	159	0.94	12
76	198	NTTコムウェア	158	0.93	122
77	26	日立製作所	152	0.90	51
78	127	九州旅客鉄道(JR九州)	148	0.87	49
79	64	ノエビア	147	0.87	15
79	189	ワコール	147	0.87	110
81	160	武田薬品工業	146	0.86	79
81	31	NTTデータ	146	0.86	50
83	45	ソニー・ミュージックエンタテインメント	145	0.85	38
84	202	アストラゼネカ	142	0.84	118
84	58	エニックス	142	0.84	26
86	91	アイシン精機	141	0.83	5
86	117	オンワード樺山	141	0.83	31
88	185	国際協力事業団	140	0.83	97
88	57	ヤマハ	140	0.83	31
90	132	三井住友海上火災保険	139	0.82	42
90	78	日本食研	139	0.82	12
92	43	花王	137	0.81	49
93	101	武富士	135	0.80	8
93	252	マイクロソフト	135	0.80	159
95	74	セブン イレブン・ジャパン	132	0.78	21
96	85	野村総合研究所	130	0.77	11
97	1250	サッポロビール	129	0.76	1153
97	132	東京電力	129	0.76	35
99	52	ルイ・ヴィトン ジャパン	127	0.75	47
100	352	レオパレス21	125	0.74	252

* 「 」は外資系(外資系の定義は、P2参照)

* 昨年順位の欄の「 」は昨年から今年にかけて新たに登場した企業が、合併等で昨年データが算出できない企業

* 表中の は順位の下がったもの

* シェアは、全票数に対する票数の割合につきN数ベースではない

3. 採用ブランドの観点からみた志望企業の評価

1) 各企業における評価項目の比較

就職志望企業がどの項目で評価されているのかを、それぞれの企業ごとの得点で見ると、「人脈の形成」、「ブランドや知的資産」などの項目で高く評価されている企業が多くなっている。就職志望企業の上位20社中10社で「人脈の形成」が、5社で「ブランドや知的資産」が最も高く評価された。

次いで多いのは「戦略・ビジョン」であるが、この項目を最も高く評価された企業は4社であった。

逆に、「施設・設備」「雇用の安定と高い給与」「専門的知識の発揮と吸収」などの項目は、各企業の中では評価の度合いが低いとされており、上位5項目には挙がっていない。

就職志望企業上位20社における評価項目の得点比較

		企業選択重視点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			トヨタ自動車	ジェイティービー(JTB)	博報堂	本田技研工業	電通	講談社	ソニー	日本航空(JAL)	日本放送協会(NHK)	サントリー
企業力	業績	3.91	(3) 4.68	4.05	4.30	(3) 4.58	(4) 4.59	3.81	(4) 4.45	3.82	3.51	(2) 4.38
	施設・設備	3.67	4.25	3.61	3.76	4.31	3.98	3.42	4.30	4.09	3.86	3.93
	戦略・ビジョン	(2) 4.17	(1) 4.78	(2) 4.34	(2) 4.61	(4) 4.73	(2) 4.62	3.96	(2) 4.72	(2) 4.48	4.08	(1) 4.50
	人材や経営者	(5) 3.96	4.36	3.98	(4) 4.41	4.52	(5) 4.44	4.03	(3) 4.46	4.29	4.07	(2) 4.43
	ブランドや知的資産	3.55	(2) 4.72	4.11	4.15	(1) 4.78	4.39	(3) 4.27	(1) 4.73	(4) 4.38	(3) 4.51	(3) 4.37
	顧客・社会への接点	3.80	(4) 4.48	(3) 4.23	(5) 4.40	(5) 4.34	4.41	3.96	4.17	(3) 4.44	(4) 4.36	4.18
仕事・待遇	雇用の安定と高い給与	3.94	4.20	3.67	3.77	3.86	3.97	3.79	3.88	3.46	4.16	4.02
	やりたい仕事と正当な評価	(1) 4.45	4.04	(4) 4.17	4.38	4.29	4.33	(4) 4.17	4.14	4.20	(5) 4.27	4.06
	専門的知識の発揮と吸収	3.94	3.86	3.90	3.82	4.05	3.79	3.77	3.93	4.21	4.04	3.30
	責任ある仕事や社会に影響のある仕事	3.67	4.27	(5) 4.12	(3) 4.53	(5) 4.34	(2) 4.62	(2) 4.47	(5) 4.36	(5) 4.35	(2) 4.57	4.28
	人脈の形成	(4) 4.00	(5) 4.37	(1) 4.47	(1) 4.73	4.16	(1) 4.81	(1) 4.64	4.21	(1) 4.69	(1) 4.63	(4) 4.36
	職場風土・通勤の利便性	(3) 4.16	3.82	4.11	4.19	3.84	4.26	(5) 4.16	3.97	4.00	3.92	4.19

		企業選択重視点	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			朝日新聞社	ベネッセコーポレーション	東京三菱銀行	集英社	全日本空輸(ANA)	積水ハウス	東日本旅客鉄道(JR東日本)	三井住友銀行	日本電気(NEC)	日本アイ・ピー・エム
企業力	業績	3.91	3.95	4.13	3.88	3.96	3.72	(3) 4.32	(5) 4.24	3.64	4.06	(3) 4.50
	施設・設備	3.67	3.47	3.70	3.56	3.21	3.95	3.90	3.83	3.68	(4) 4.28	4.33
	戦略・ビジョン	(2) 4.17	(5) 4.24	(1) 4.45	(2) 4.34	4.10	(1) 4.46	(2) 4.34	(2) 4.40	(2) 4.25	(2) 4.49	(2) 4.72
	人材や経営者	(5) 3.96	4.22	4.14	(5) 4.11	4.09	4.11	3.93	3.80	(5) 4.15	4.11	4.31
	ブランドや知的資産	3.55	(5) 4.24	4.15	4.06	(5) 4.16	(5) 4.27	(1) 4.41	(3) 4.36	4.03	(1) 4.69	(1) 4.75
	顧客・社会への接点	3.80	(3) 4.42	(4) 4.29	(3) 4.24	4.03	(3) 4.36	4.14	(1) 4.42	(4) 4.18	(3) 4.30	4.32
仕事・待遇	雇用の安定と高い給与	3.94	3.94	3.99	3.81	3.71	3.46	3.71	4.20	3.82	3.91	4.12
	やりたい仕事と正当な評価	(1) 4.45	(4) 4.35	(2) 4.33	3.95	(3) 4.40	4.20	4.09	4.00	3.99	4.00	(5) 4.34
	専門的知識の発揮と吸収	3.94	3.88	3.84	3.88	3.69	3.99	3.91	3.76	3.98	4.11	4.12
	責任ある仕事や社会に影響のある仕事	3.67	(2) 4.61	(3) 4.32	(4) 4.15	(2) 4.55	(4) 4.32	(5) 4.16	(4) 4.35	(3) 4.21	(5) 4.25	(4) 4.41
	人脈の形成	(4) 4.00	(1) 4.73	(5) 4.20	(1) 4.35	(1) 4.78	(2) 4.39	(3) 4.24	4.13	(1) 4.34	4.18	4.33
	職場風土・通勤の利便性	(3) 4.16	4.04	3.97	3.95	(4) 4.20	3.82	3.84	4.12	3.99	3.87	3.94

* 加重平均は、各項目の選択肢「あてはまる」から「あてはまらない」の5段階に5～1点を与え、その平均値

* 表中白抜きは縦に見て各企業において最大、網掛けは最大含めて上位5位まで

* 得点左の数字は各企業において高く評価された順位上位5つ

2) 各項目における評価得点の企業間比較

メーカーは「企業力」、非メーカーは「仕事・待遇」で高い得点を獲得

各項目の得点は、企業力の面ではメーカーが高い傾向にあり、仕事・待遇の面では非メーカーが高いという結果になった。

採用ブランドの観点からメーカーを見たとき、自動車業界では、トヨタ自動車は、「戦略・ビジョン」「業績」「顧客・社会への接点」「雇用の安定と高い給与」の4項目で上位20社中最も高く評価されている。また、本田技研工業は「ブランドや知的資産」、「人材や経営者」の2項目で上位20社中、最も高く評価されている

電機・電子メーカーでは、日本電気(NEC)、日本アイ・ピー・エムの2社を見ると、「施設・設備」「ブランドや知的資産」「専門的知識の発揮と吸収」などが他企業より高い評価を受けている。

非メーカーでは、「人脈の形成」「責任ある仕事や社会に影響のある仕事」「職場風土・通勤の利便性」などがそって評価されている電通、博報堂といった広告代理店や、「やりたい仕事と正当な評価」「責任ある仕事と社会に影響ある仕事」、「人脈の形成」などの高い出版社、新聞社。「雇用の安定と給与の高さ」が高い東日本旅客鉄道(JR東日本)などが特徴的である。

採用ブランド各項目における評価得点の企業間比較

	企業力						仕事・待遇					
	業績	施設・設備	戦略・ビジョン	人材や経営者	ブランドや知的資産	顧客・社会への接点	雇用の安定と高い給与	やりたい仕事と正当な評価	専門的知識の発揮と吸収	責任ある仕事や社会に影響のある仕事	人脈の形成	職場風土・通勤の利便性
企業選択重視点	3.91	3.67	4.17	3.96	3.55	3.80	3.94	4.45	3.94	3.67	4.00	4.16
メーカー												
1 トヨタ自動車	(1) 4.68	(5) 4.25	(1) 4.78	4.36	(4) 4.72	(1) 4.48	(1) 4.20	4.04	3.86	4.27	4.37	3.82
4 本田技研工業	(3) 4.58	(2) 4.31	(2) 4.73	(1) 4.52	(1) 4.78	4.34	3.86	4.29	(4) 4.05	4.34	4.16	3.84
7 ソニー	(5) 4.45	(3) 4.30	(3) 4.72	(2) 4.46	(3) 4.73	4.17	3.88	4.14	3.93	4.36	4.21	3.97
10 サントリー	4.38	3.93	4.50	(4) 4.43	4.37	4.18	(5) 4.02	4.06	3.30	4.28	4.36	(3) 4.19
16 積水ハウス	4.32	3.90	4.34	3.93	4.41	4.14	3.71	4.09	3.91	4.16	4.24	3.84
19 日本電気(NEC)	4.06	(4) 4.28	4.49	4.11	(5) 4.69	4.30	3.91	4.00	(3) 4.11	4.25	4.18	3.87
20 日本アイ・ピー・エム	(4) 4.50	(1) 4.33	(3) 4.72	4.31	(2) 4.75	4.32	(4) 4.12	(4) 4.34	(2) 4.12	4.41	4.33	3.94
非メーカー												
2 ジェイティービー(JTB)	4.05	3.61	4.34	3.98	4.11	4.23	3.67	4.17	3.90	4.12	4.47	4.11
3 博報堂	4.30	3.76	4.61	(5) 4.41	4.15	4.40	3.77	(2) 4.38	3.82	(5) 4.53	(3) 4.73	(3) 4.19
5 電通	(2) 4.59	3.98	(5) 4.62	(3) 4.44	4.39	(5) 4.41	3.97	(5) 4.33	3.79	(1) 4.62	(1) 4.81	(1) 4.26
6 講談社	3.81	3.42	3.96	4.03	4.27	3.96	3.79	4.17	3.77	4.47	4.64	(5) 4.16
8 日本航空(JAL)	3.82	4.09	4.48	4.29	4.38	(2) 4.44	3.46	4.20	(1) 4.21	4.35	(5) 4.69	4.00
9 日本放送協会(NHK)	3.51	3.86	4.08	4.07	4.51	4.36	(3) 4.16	4.27	(5) 4.04	(3) 4.57	4.63	3.92
11 朝日新聞社	3.95	3.47	4.24	4.22	4.24	(3) 4.42	3.94	(3) 4.35	3.88	(2) 4.61	(3) 4.73	4.04
12 ベネッセコーポレーション	4.13	3.70	4.45	4.14	4.15	4.29	3.99	(5) 4.33	3.84	4.32	4.20	3.97
13 東京三菱銀行	3.88	3.56	4.34	4.11	4.06	4.24	3.81	3.95	3.88	4.15	4.35	3.95
14 集英社	3.96	3.21	4.10	4.09	4.16	4.03	3.71	(1) 4.40	3.69	(4) 4.55	(2) 4.78	(2) 4.20
15 全日本空輸(ANA)	3.72	3.95	4.46	4.11	4.27	4.36	3.46	4.20	3.99	4.32	4.39	3.82
17 東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.24	3.83	4.40	3.80	4.36	(3) 4.42	(1) 4.20	4.00	3.76	4.35	4.13	4.12
18 三井住友銀行	3.64	3.68	4.25	4.15	4.03	4.18	3.82	3.99	3.98	4.21	4.34	3.99

* 加重平均は、各項目の選択肢「あてはまる」から「あてはまらない」の5段階に5~1点を与え、その平均値
 * 企業名の左の数字は全体順位を示している
 * 表中白抜きは縦に見て、各項目において最大、網掛けは最大含めて上位5位まで
 * 得点左の数字は各企業において高く評価された順位上位5つ

3) 採用ブランドの構成要素ごとの評価順位「企業力」

「業績」において高い評価を受けている企業は、トヨタ自動車、電通、本田技研工業の順となり、実態にかなった結果である。報道や企業からの発信がきちんと伝わっているようだ。

「施設・設備」においては日本アイ・ピー・エム、本田技研工業、ソニーの順となり、これは技術力・開発力に支えられた生産設備等への評価を反映したものと見ることができる。この項目では最終商品を持つメーカーが非メーカーを抑えているのが特徴的である。

「戦略・ビジョン」では、トヨタ自動車、本田技研工業、ソニー、日本アイ・ピー・エムといった企業が高い評価を受けた。商品のわかり易さ、マスコミへの露出度などからくる影響だろうか。

「人材や経営者」においては本田技研工業、ソニー、電通の順となり、インフラや仕組みで利益を得る企業は下位にとどまり、知識創造を利益に変換しそうな印象の企業が上位に位置している。

「ブランドや知的資産」において高い企業は、上から本田技研工業、日本アイ・ピー・エム、ソニーの順となり、消費者としてなじみがあり、かつブランドイメージを形成しやすい商品を持つ企業が上位に位置する。

「顧客・社会への接点」においてはトヨタ自動車、日本航空(JAL)、朝日新聞社、東日本旅客鉄道(JR東日本)の順となり、直接的にサービスを楽しむことができる消費者としての視点が色濃く出た結果となっている。

業績		施設・設備		戦略・ビジョン	
1 トヨタ自動車	4.68	1 日本アイ・ピー・エム	4.33	1 トヨタ自動車	4.78
2 電通	4.59	2 本田技研工業	4.31	2 本田技研工業	4.73
3 本田技研工業	4.58	3 ソニー	4.30	3 ソニー	4.72
4 日本アイ・ピー・エム	4.50	4 日本電気(NEC)	4.28	4 日本アイ・ピー・エム	4.72
5 ソニー	4.45	5 トヨタ自動車	4.25	5 電通	4.62
6 サントリー	4.38	6 日本航空(JAL)	4.09	6 博報堂	4.61
7 積水ハウス	4.32	7 電通	3.98	7 サントリー	4.50
8 博報堂	4.30	8 全日本空輸(ANA)	3.95	8 日本電気(NEC)	4.49
9 東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.24	9 サントリー	3.93	9 日本航空(JAL)	4.48
10 ベネッセコーポレーション	4.13	10 積水ハウス	3.90	10 全日本空輸(ANA)	4.46
11 日本電気(NEC)	4.06	11 日本放送協会(NHK)	3.86	11 ベネッセコーポレーション	4.45
12 ジェイティービー(JTB)	4.05	12 東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.83	12 東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.40
13 集英社	3.96	13 博報堂	3.76	13 ジェイティービー(JTB)	4.34
14 朝日新聞社	3.95	14 ベネッセコーポレーション	3.70	14 東京三菱銀行	4.34
15 東京三菱銀行	3.88	15 三井住友銀行	3.68	15 積水ハウス	4.34
16 日本航空(JAL)	3.82	16 ジェイティービー(JTB)	3.61	16 三井住友銀行	4.25
17 講談社	3.81	17 東京三菱銀行	3.56	17 朝日新聞社	4.24
18 全日本空輸(ANA)	3.72	18 朝日新聞社	3.47	18 集英社	4.10
19 三井住友銀行	3.64	19 講談社	3.42	19 日本放送協会(NHK)	4.08
20 日本放送協会(NHK)	3.51	20 集英社	3.21	20 講談社	3.96

人材や経営者		ブランドや知的資産		顧客・社会への接点	
1 本田技研工業	4.52	1 本田技研工業	4.78	1 トヨタ自動車	4.48
2 ソニー	4.46	2 日本アイ・ピー・エム	4.75	2 日本航空(JAL)	4.44
3 電通	4.44	3 ソニー	4.73	3 朝日新聞社	4.42
4 サントリー	4.43	4 トヨタ自動車	4.72	4 東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.42
5 博報堂	4.41	5 日本電気(NEC)	4.69	5 電通	4.41
6 トヨタ自動車	4.36	6 日本放送協会(NHK)	4.51	6 博報堂	4.40
7 日本アイ・ピー・エム	4.31	7 積水ハウス	4.41	7 日本放送協会(NHK)	4.36
8 日本航空(JAL)	4.29	8 電通	4.39	8 全日本空輸(ANA)	4.36
9 朝日新聞社	4.22	9 日本航空(JAL)	4.38	9 本田技研工業	4.34
10 三井住友銀行	4.15	10 サントリー	4.37	10 日本アイ・ピー・エム	4.32
11 ベネッセコーポレーション	4.14	11 東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.36	11 日本電気(NEC)	4.30
12 日本電気(NEC)	4.11	12 講談社	4.27	12 ベネッセコーポレーション	4.29
13 東京三菱銀行	4.11	13 全日本空輸(ANA)	4.27	13 東京三菱銀行	4.24
14 全日本空輸(ANA)	4.11	14 朝日新聞社	4.24	14 ジェイティービー(JTB)	4.23
15 集英社	4.09	15 集英社	4.16	15 サントリー	4.18
16 日本放送協会(NHK)	4.07	16 博報堂	4.15	16 三井住友銀行	4.18
17 講談社	4.03	17 ベネッセコーポレーション	4.15	17 ソニー	4.17
18 ジェイティービー(JTB)	3.98	18 ジェイティービー(JTB)	4.11	18 積水ハウス	4.14
19 積水ハウス	3.93	19 東京三菱銀行	4.06	19 集英社	4.03
20 東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.80	20 三井住友銀行	4.03	20 講談社	3.96

3) 採用ブランドの構成要素ごとの評価順位「仕事・待遇」

「雇用の安定と高い給与」においては、トヨタ自動車、東日本旅客鉄道、日本放送協会の順に評価が高い。各業界トップ企業に、安定した雇用をイメージしているようだ。

「やりたい仕事や正当な評価」においては集英社、博報堂、朝日新聞社の順となる。入社後、働く姿を投影しやすい職種を持つ企業が評価される傾向にある。

「専門的知識の発揮と吸収」では、日本航空、日本アイ・ピー・エム、NECが評価を受けた。

「責任ある仕事や社会に影響のある仕事」においては電通、朝日新聞社、日本放送協会、集英社、博報堂、講談社と上位はマスコミで占める。情報の発信といった、世の中への影響を手ごたえとして感じ取りやすいという点が理由と考えられる。

「職場風土・通勤の利便性」において高い企業は、電通、集英社、サントリー、博報堂の順となった。

雇用の安定と高い給与		やりたい仕事と正当な評価		専門的知識の発揮と吸収				
1	トヨタ自動車	4.20	1	集英社	4.40	1	日本航空(JAL)	4.21
	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.20	2	博報堂	4.38	2	日本アイ・ピー・エム	4.12
3	日本放送協会(NHK)	4.16	3	朝日新聞社	4.35	3	日本電気(NEC)	4.11
4	日本アイ・ピー・エム	4.12	4	日本アイ・ピー・エム	4.34	4	本田技研工業	4.05
5	サントリー	4.02	5	電通	4.33	5	日本放送協会(NHK)	4.04
6	ベネッセコーポレーション	3.99	6	ベネッセコーポレーション	4.33	6	全日本空輸(ANA)	3.99
7	電通	3.97	7	本田技研工業	4.29	7	三井住友銀行	3.98
8	朝日新聞社	3.94	8	日本放送協会(NHK)	4.27	8	ソニー	3.93
9	日本電気(NEC)	3.91	9	日本航空(JAL)	4.20	9	積水ハウス	3.91
10	ソニー	3.88	9	全日本空輸(ANA)	4.20	10	ジェイティービー(JTB)	3.90
11	本田技研工業	3.86	11	ジェイティービー(JTB)	4.17	11	朝日新聞社	3.88
12	三井住友銀行	3.82	12	講談社	4.17	12	東京三菱銀行	3.88
13	東京三菱銀行	3.81	13	ソニー	4.14	13	トヨタ自動車	3.86
14	講談社	3.79	14	積水ハウス	4.09	14	ベネッセコーポレーション	3.84
15	博報堂	3.77	15	サントリー	4.06	15	博報堂	3.82
16	集英社	3.71	16	トヨタ自動車	4.04	16	電通	3.79
	積水ハウス	3.71	17	日本電気(NEC)	4.00	17	講談社	3.77
18	ジェイティービー(JTB)	3.67	18	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.00	18	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.76
19	日本航空(JAL)	3.46	19	三井住友銀行	3.99	19	集英社	3.69
	全日本空輸(ANA)	3.46	20	東京三菱銀行	3.95	20	サントリー	3.30
責任ある仕事や社会に影響のある仕事		人脈の形成		職場風土・通勤の利便性				
1	電通	4.62	1	電通	4.81	1	電通	4.26
2	朝日新聞社	4.61	2	集英社	4.78	2	集英社	4.20
3	日本放送協会(NHK)	4.57	3	博報堂	4.73	3	サントリー	4.19
4	集英社	4.55	4	朝日新聞社	4.73	4	博報堂	4.19
5	博報堂	4.53	5	日本航空(JAL)	4.69	5	講談社	4.16
6	講談社	4.47	6	講談社	4.64	6	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.12
7	日本アイ・ピー・エム	4.41	7	日本放送協会(NHK)	4.63	7	ジェイティービー(JTB)	4.11
8	ソニー	4.36	8	ジェイティービー(JTB)	4.47	8	朝日新聞社	4.04
9	日本航空(JAL)	4.35	9	全日本空輸(ANA)	4.39	9	日本航空(JAL)	4.00
	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.35	10	トヨタ自動車	4.37	10	三井住友銀行	3.99
11	本田技研工業	4.34	11	サントリー	4.36	11	ソニー	3.97
12	ベネッセコーポレーション	4.32	12	東京三菱銀行	4.35		ベネッセコーポレーション	3.97
	全日本空輸(ANA)	4.32	13	三井住友銀行	4.34	13	東京三菱銀行	3.95
14	サントリー	4.28	14	日本アイ・ピー・エム	4.33	14	日本アイ・ピー・エム	3.94
15	トヨタ自動車	4.27	15	積水ハウス	4.24	15	日本放送協会(NHK)	3.92
16	日本電気(NEC)	4.25	16	ソニー	4.21	16	日本電気(NEC)	3.87
17	三井住友銀行	4.21	17	ベネッセコーポレーション	4.20	17	本田技研工業	3.84
18	積水ハウス	4.16	18	日本電気(NEC)	4.18		積水ハウス	3.84
19	東京三菱銀行	4.15	19	本田技研工業	4.16	19	トヨタ自動車	3.82
20	ジェイティービー(JTB)	4.12	20	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4.13		全日本空輸(ANA)	3.82

4. 就職志望企業順位 < 業界別分析 >

1) 業界別順位変動結果の概要

- 1) メーカー (10 ページ参照) ~ メーカー低迷のなか、自動車 3 社が目立って健闘。~
 - ・今年度トップとなった**トヨタ自動車**(昨年 3 位)を筆頭に、順調な業績の回復を見せる**日産自動車**(73 位 25 位)、**ダイハツ自動車工業**(215 位 122 位)は順位が上昇。他、**本田技研工業**も 2 位 4 位と順位は下げたものの、依然上位に位置している。**デンソー**、**アイシン精機**、**アイシン・エイ・ダブリュ**等の輸送機器メーカーも順位を上げた。
 - ・電機・電子メーカーをみると、一様に業界大手が順位を下げ、業績を敏感に反映した。5 年連続トップであった**ソニー**が 7 位に後退。**日本電気(NEC)**、**日本アイ・ピー・エム**、**富士通**など大手 IT メーカーや、総合電機メーカーの**日立製作所**、**東芝**なども順位を落とした。
- 2) 通信 (10 ページ参照) ~ 業界全体で順位を落とす。閉塞感ただよう通信業界~
 - ・例年トップを争っていた**NTTドコモ**だが、今年は振るわず昨年 4 位から 20 位へと順位を下げた。その他のいわゆる通信キャリアも総じて順位は落とした。その中で地域会社の統合や外資の参入など話題のあった**ジェイフォン**が、73 位と健闘。
- 3) 流通業・商社・商業 (10 ページ参照) ~ 百貨店、大手商社の順位上昇、新業態流通振るわず~
 - ・流通業では**高島屋**(122 位 51 位)、**伊勢丹**(72 位 68 位)といった大手百貨店が堅調に順位を上げ、コンビニエンス・ストアの**セブン-イレブン**・**ジャパン**や**イトーヨーカ堂**がともに昨年に引き続き順位を落とした。
 - ・商業では、「SPA(製造小売業)型企業」を消費者に認知させた**ファーストリテイリング**だが、今年は振るわず 109 位にとどまった。対して**ミキハウス**、**サントリーフーズ**などが順調に票を伸ばし、順位を上げた。
- 4) 金融 (11 ページ参照) ~ メガバンクが業界を牽引、されど業界内の二極化は促進~
 - ・一通りの再編を終え、新たなスタートを切った金融業界だが、再編により巨大化した企業に票が集まり、業界内ではメガバンク優勢の結果が出た。都銀分野では**東京三菱銀行**(18 位 13 位)、**三井住友銀行**(32 位 18 位)、**UFJ 銀行**(40 位 29 位)などが順位を上げた。**みずほフィナンシャルグループ**は若干順位を下げたが 47 位にとどまった。証券分野は二極化が激しく、**野村證券**(33 位 48 位)が頭ひとつ抜きん出、**大和証券**(272 位 173 位)、**日興コーディアル証券**(179 位 288 位*前回は日興証券)と続く。
 - ・保険分野では、損保と生保で明暗が分かれ、**東京海上火災保険**(27 位 21 位)、**三井住友海上火災保険**(132 位 90 位)のほか、**損害保険ジャパン**が 46 位と、生保を押さえ上位に食い込んだ。
- 5) 運輸・旅行関連 (11 ページ参照) ~ 業界大手企業が急上昇~
 - ・アメリカでのテロ事件の影響を受けた旅行関連業界だが、全体的には順位を上げた。98 年以来 3 年ぶりに**ジェイティービー**が 2 位(昨年 10 位)、**エイチ・アイ・エス**が 28 位(昨年 34 位)と、他の旅行代理店に水をあけた結果となった。**日本航空**(14 位 8 位)、**全日本空輸**(19 位 15 位)とともに順位を上げている。また、**JRグループ**7社がすべて順位を上げている。
- 6) マスコミ (11 ページ参照) ~ 全般的に上昇傾向~
 - ・マスコミは概して順位を上げた企業が多かった。**博報堂**(13 位 3 位)、**電通**(5 位 5 位)、**東急エージェンシー**(85 位 39 位)などの広告代理店や、出版社では**講談社**(15 位 6 位)、**集英社**(24 位 14 位)、**新潮社**(208 位 148 位)などが順位を上げた。放送局も同様に**日本放送協会**(9 位 9 位)、**全国朝日放送(テレビ朝日)**(82 位 56 位)などが順位を上げた。**朝日**、**読売**、**毎日**の三大紙もそろって上昇した。
- 7) 外資系企業 (11 ページ参照) ~ 上位企業が軒並み順位を下げた外資系企業群~
 - ・昨年に続き順位を落とした**日本アイ・ピー・エム**や**P&G**などの順位の後退が目立つ一方で、**ファイザー製薬**(155 位 69 位)、**アストラゼネカ**(202 位 84 位)などの製薬関連や、**トリンプ・インターナショナル・ジャパン**(155 位 71 位)などの企業が上昇した。また、**マイクロソフト**が順位を上げ、初めて 100 位内に登場した(252 位 93 位)。
 - ・近年人気企業の一角を占めていた**アクセンチュア**、**PwCコンサルティング**等のコンサルティングファームも順位の後退が目立っている。

2) 業界別就職志望上位企業・外資系企業の順位変動

メーカー(電機・電子)

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	ソニー	7	1	545	3.21	6
2	日本電気(NEC)	19	10	358	2.11	9
3	日本アイ・ピー・エム	20	7	352	2.07	13
4	富士通	30	25	256	1.51	5
5	松下電器産業	34	6	253	1.49	28
6	キヤノン	42	40	222	1.31	2
7	リコー	48	65	197	1.16	17
8	日立製作所	77	26	152	0.90	51
9	シャープ	102	91	121	0.71	11
10	東芝	137	59	98	0.58	78

メーカー(自動車・輸送機器)

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	トヨタ自動車	1	3	739	4.36	2
2	本田技研工業	4	2	658	3.88	2
3	日産自動車	25	73	313	1.85	48
4	デンソー	53	69	187	1.10	16
5	富士重工業	58	50	176	1.04	8
6	アイシン精機	86	91	141	0.83	5
7	ダイハツ工業	122	215	105	0.62	93
8	三菱重工業	140	202	97	0.57	62
9	スズキ	148	139	94	0.55	9
10	アイシン・エイ・ダブリュ	202	252	71	0.42	50

13	三菱自動車工業	288	266	49	0.29	22
16	マツダ	425	352	32	0.19	73
29	日野自動車	1322	882	8	0.05	440
43	いすゞ自動車	2111	956	4	0.02	1155
43	日産ディーゼル工業	2111	-	4	0.02	-

メーカー(その他)

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	サントリー	10	8	491	2.89	2
2	積水ハウス	16	20	429	2.53	4
3	資生堂	26	17	306	1.8	9
4	明治製菓	30	77	256	1.51	47
5	麒麟ビール	32	55	255	1.5	23
6	凸版印刷	33	55	254	1.5	22
7	アサヒビール	41	36	223	1.31	5
8	P&G	43	23	217	1.28	20
9	大日本印刷	53	82	187	1.1	29
10	バンダイ	57	68	178	1.05	11
11	味の素	60	84	172	1.01	24
12	日清食品	61	113	170	1	52
13	カゴメ	63	146	169	1	83
14	ファイザー製薬	69	155	164	0.97	86
15	旭化成ホームズ	71	49	161	0.95	22
	トリンプ・インターナショナル・ジャパン	71	155	161	0.95	84
17	大和ハウス工業	73	88	159	0.94	15
18	ワコール	79	189	147	0.87	110
19	ノエビア	79	64	147	0.87	15
20	武田薬品工業	81	160	146	0.86	79

通信

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	NTTドコモ	22	4	333	1.96	18
2	ジェイフォン	73	-	159	0.94	-
3	NTTコミュニケーションズ	133	124	99	0.58	9
4	KDDI	187	93	76	0.45	94
5	NTT	192	105	74	0.44	87
6	NTTドコモ九州	204	272	70	0.41	68
7	NTTドコモ関西	277	163	51	0.30	114
8	NTTドコモ東海	388	292	36	0.21	96
9	日本テレコム	388	272	36	0.21	116
10	NTTドコモ東北	398	956	35	0.21	558

18	NTT西日本	1451	956	7	0.04	495
23	NTT東日本	1842	1737	5	0.03	105

流通(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア)

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	高島屋	51	122	188	1.11	71
2	伊勢丹	68	72	165	0.97	4
3	セブン・イレブン・ジャパン	95	74	132	0.78	21
4	西武百貨店	124	208	102	0.60	84
5	JR東海高島屋	187	240	76	0.45	53
6	イトーヨーカ堂	195	163	73	0.43	32
7	ローソン	213	248	68	0.40	35
8	三越	217	266	67	0.39	49
9	阪急百貨店	237	2215	60	0.35	1978
10	ファミリーマート	317	399	44	0.26	82

商社

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	伊藤忠商事	27	44	283	1.67	17
2	三井物産	35	40	251	1.48	5
3	三菱商事	36	39	238	1.40	3
4	住友商事	38	61	229	1.35	23
5	良品計画	49	107	191	1.13	58
6	豊田通商	221	240	66	0.39	19
7	丸紅	221	151	66	0.39	70
8	日商岩井	233	272	61	0.36	39
9	ジャストミート	259	283	55	0.32	24
10	赤ちやん本舗	343	584	41	0.24	241

商業(商社除く)

業界順位	企業名	全体順位	昨年順位	票数	シェア(%)	順位変動
1	ミキハウス	37	69	232	1.37	32
2	サントリーフーズ	55	59	186	1.10	4
3	アストラゼネカ	84	202	142	0.84	118
4	ルイ・ヴィトン ジャパン	99	52	127	0.75	47
5	ニトリ	106	160	120	0.71	54
6	ファーストリテイリング	109	15	118	0.70	94
7	大塚商会	123	95	103	0.61	28
8	フェリシモ	145	146	95	0.56	1
9	高見	156	175	87	0.51	19
10	大塚家具	166	146	81	0.48	20

* 業界別の表右の「 」は外資系(外資系の定義は、P2参照)
 * 昨年順位欄の「 」は昨年から今年にかけて新たに登場した企業か、合併等で昨年データが算出できない企業
 * 表中の は順位の下がったもの
 * シェアは、全票数に対する票数の割合

金融

業界 順位	企業名	全体 順位	昨年 順位	票数	シェア (%)	順位 変動
1	東京三菱銀行	13	18	447	2.63	5
2	三井住友銀行	18	32	367	2.16	14
3	東京海上火災保険	21	27	337	1.99	6
4	UFJ銀行	29	40	265	1.56	11
5	損害保険ジャパン	46	-	206	1.21	-
6	みずほフィナンシャルグループ	47	34	204	1.20	13
7	野村證券	48	33	197	1.16	14
8	ジェーシービー	59	52	173	1.02	7
9	三井住友海上火災保険	90	132	139	0.82	42
10	武富士	93	101	135	0.80	8
11	日本生命保険	106	75	120	0.71	31
12	プロミス	151	115	91	0.54	36
13	日本銀行	156	109	87	0.51	47
14	大和証券	173	272	79	0.47	99
15	オリックス	180	102	77	0.45	78
16	三井住友カード	195	223	73	0.43	28
	第一生命保険	195	202	73	0.43	7
18	三菱信託銀行	199	103	72	0.42	96
19	あさひ銀行	213	121	68	0.40	92
20	住友信託銀行	240	352	59	0.35	112
21	ユーシーカード	259	311	55	0.32	52
22	サンワード貿易	266	399	53	0.31	133
23	新生銀行	284	1737	50	0.29	1453
	安田生命保険	284	252	50	0.29	32
25	国際協力銀行	288	223	49	0.29	65
	日興コーディアル証券	288	179	49	0.29	109
27	京都銀行	292	333	48	0.28	41
28	福岡銀行	297	410	47	0.28	113
29	アイフル	304	252	46	0.27	52
	シティグループ	304	303	46	0.27	1

運輸・旅行

業界 順位	企業名	全体 順位	昨年 順位	票数	シェア (%)	順位 変動
1	ジェイティービー(JTB)	2	10	722	4.26	8
2	日本航空(JAL)	8	14	535	3.15	6
3	全日本空輸(ANA)	15	19	437	2.58	4
4	東日本旅客鉄道(JR東日本)	17	29	387	2.28	12
5	東海旅客鉄道(JR東海)	23	28	320	1.89	5
6	西日本旅客鉄道(JR西日本)	24	52	315	1.86	28
7	エイチ・アイ・エス	28	34	275	1.62	6
8	近畿日本ツーリスト	64	30	167	0.98	34
9	九州旅客鉄道(JR九州)	78	127	148	0.87	49
10	日本通運	102	88	121	0.71	14
11	北海道旅客鉄道(JR北海道)	116	266	112	0.66	150
12	新東京国際空港公団	133	303	99	0.58	170
13	日本郵船	166	155	81	0.48	11
14	日本旅行	173	48	79	0.47	125
15	エアーニッポン	199	132	72	0.42	67
16	ヤマト運輸	204	179	70	0.41	25
17	東京急行電鉄	213	175	68	0.40	38
18	商船三井	217	323	67	0.39	106
19	小田急電鉄	277	323	51	0.30	46
20	日本エアシステム	288	272	49	0.29	16

34	日本貨物鉄道(JR貨物)	571	3010	22	0.13	2439
51	四国旅客鉄道(JR四国)	939	1449	12	0.07	510

* 業界別の表右の「」は外資系(外資系の定義は、P2参照)

* 昨年順位の欄の「」は昨年から今年にかけて新たに登場した企業が、合併等で昨年データが算出できない企業

* 表中の は順位の下がったもの

* シェアは、全票数に対する票数の割合

マスコミ

業界 順位	企業名	全体 順位	昨年 順位	票数	シェア (%)	順位 変動
1	博報堂	3	13	697	4.11	10
2	電通	5	5	619	3.65	0
3	講談社	6	15	561	3.31	9
4	日本放送協会	9	9	493	2.91	0
5	朝日新聞社	11	21	479	2.82	10
6	ベネッセコーポレーション	12	12	448	2.64	0
7	集英社	14	24	444	2.62	10
8	東急エージェンシー	39	85	224	1.32	46
9	全国朝日放送	56	82	180	1.06	26
10	マガジンハウス	67	50	166	0.98	17
11	中央出版	70	198	162	0.95	128
12	読売新聞社	110	163	117	0.69	53
13	読売テレビ放送	112	283	114	0.67	171
14	毎日新聞社	113	228	113	0.67	115
15	WOWOW	124	215	102	0.60	91
16	アサツー ディ・ケイ	133	90	99	0.58	43
17	新潮社	148	208	94	0.55	60
18	日本経済新聞社	154	127	89	0.52	27
19	ロケット	156	185	87	0.51	29
20	テレビ東京	169	208	80	0.47	39

外資系企業

すべ外資系企業につき左端の は削除しています

外資 系内 順位	企業名	全体 順位	昨年 順位	票数	シェア (%)	順位 変動
1	日本アイ・ピー・エム	20	7	352	2.07	13
2	日産自動車	25	73	313	1.85	48
3	P & G	43	23	217	1.28	20
4	アクセンチュア	64	22	167	0.98	42
5	ファイザー製薬	69	155	164	0.97	86
6	トリンプ・インターナショナル・ジャパン	71	155	161	0.95	84
7	ジェイフォン	73	463	159	0.94	390
	スターバックス コーヒー ジャパン	73	85	159	0.94	12
9	アストラゼネカ	84	202	142	0.84	118
10	マイクロソフト	93	252	135	0.80	159
11	ルイ・ヴィトン ジャパン	99	52	127	0.75	47
12	ジョンソン・エンド・ジョンソン	111	160	115	0.68	49
13	PwCコンサルティング	113	79	113	0.67	34
14	万有製薬	117	109	111	0.65	8
15	ハーゲンダッツジャパン	130	151	100	0.59	21
16	アサツーディ・ケイ	133	90	99	0.58	43
17	ネスレ日本	166	0	81	0.48	0
18	富士ゼロックス	173	179	79	0.47	6
19	日本イーライリリー	178	378	78	0.46	200
20	日本ロレアル	192	463	74	0.44	271

5. 過去調査の就職志望順位(参考)

2001年調査(2002年3卒対象)

順位	名称	票数	シェア(%)
1	ソニー	1032	9.38
2	本田技研工業	629	5.72
3	トヨタ自動車	518	4.71
4	NTTドコモ	516	4.69
5	電通	477	4.34
6	松下電器産業	423	3.85
7	日本アイ・ピー・エム	418	3.80
8	サントリー	411	3.74
9	日本放送協会(NHK)	397	3.61
10	日本電気(NEC)	394	3.58
	ジェイティービー(JTB)	394	3.58
12	ベネッセコーポレーション	354	3.22
13	博報堂	350	3.18
14	日本航空(JAL)	341	3.10
15	講談社	320	2.91
15	ファーストリテイリング	320	2.91
17	資生堂	300	2.73
18	東京三菱銀行	298	2.71
19	全日本空輸(ANA)	282	2.56
20	積水ハウス	264	2.40
21	朝日新聞社	261	2.37
22	アクセンチュア	254	2.31
23	P & G	249	2.26
24	集英社	246	2.24
25	富士通	244	2.22
26	日立製作所	235	2.14
27	東京海上火災保険	233	2.12
28	東海旅客鉄道(JR東海)	222	2.02
29	東日本旅客鉄道(JR東日本)	207	1.88
30	近畿日本ツーリスト	191	1.74

2000年調査(2001年3卒対象)

順位	名称	票数	シェア(%)
1	ソニー	1495	14.49
2	本田技研工業	575	5.57
3	NTTドコモ	568	5.51
4	トヨタ自動車	507	4.92
5	富士通	456	4.42
6	日本アイ・ピー・エム	430	4.17
7	松下電器産業	428	4.15
8	日本放送協会(NHK)	395	3.83
9	電通	394	3.82
10	資生堂	349	3.38
11	ジェイティービー(JTB)	346	3.35
12	NTTデータ	335	3.25
13	博報堂	326	3.16
14	日本電気(NEC)	325	3.15
15	サントリー	319	3.09
16	ソニー・コンピュータエンタテインメント	296	2.87
17	東京海上火災保険	294	2.85
18	講談社	284	2.75
19	東海旅客鉄道(JR東海)	270	2.62
20	日本航空(JAL)	254	2.46
21	ファーストリテイリング	251	2.43
22	東日本旅客鉄道(JR東日本)	247	2.39
22	東京三菱銀行	247	2.39
24	朝日新聞社	242	2.35
25	ベネッセコーポレーション	237	2.30
26	積水ハウス	232	2.25
27	麒麟ビール	209	2.03
28	エニックス	201	1.95
29	野村證券	198	1.92
30	アサヒビール	193	1.87

1999年調査(2000年3卒対象)

順位	名称	票数	シェア(%)
1	ソニー	2173	8.77
2	日本電信電話(NTT)	1323	5.34
3	日本放送協会(NHK)	1151	4.64
4	NTT移動通信網	1069	4.31
5	サントリー	1031	4.16
6	ジェイティービー(JTB)	874	3.53
7	電通	873	3.52
8	博報堂	853	3.44
9	資生堂	833	3.36
10	本田技研工業	808	3.26
11	アサヒビール	786	3.17
12	日本航空(JAL)	759	3.06
13	ベネッセコーポレーション	748	3.02
14	トヨタ自動車	747	3.01
15	東京海上火災保険	731	2.95
16	朝日新聞社	687	2.77
17	NTTデータ	668	2.69
18	東京三菱銀行	657	2.65
19	全日本空輸(ANA)	614	2.48
20	日本アイ・ピー・エム	571	2.30
21	松下電器産業	564	2.28
22	味の素	559	2.26
23	日本電気(NEC)	538	2.17
24	伊藤忠商事	529	2.13
25	大日本印刷	513	2.07
26	キヤノン	512	2.07
27	日本たばこ産業(JT)	510	2.06
28	積水ハウス	453	1.83
29	麒麟ビール	452	1.82
30	東海旅客鉄道(JR東海)	448	1.81

1998年調査(1999年3卒対象)

順位	名称	票数	シェア(%)
1	ソニー	1352	10.03
2	ジェイティービー(JTB)	670	4.97
3	NTT移動通信網	575	4.27
4	全日本空輸(ANA)	557	4.13
5	東日本旅客鉄道(JR東日本)	533	3.96
6	東京海上火災保険	501	3.72
7	トヨタ自動車	486	3.61
8	本田技研工業	479	3.55
9	電通	477	3.54
10	日本電気(NEC)	475	3.52
11	日本航空(JAL)	458	3.40
12	サントリー	448	3.32
13	日本放送協会(NHK)	421	3.12
14	松下電器産業	398	2.95
15	東京三菱銀行	396	2.94
15	博報堂	396	2.94
15	三井物産	396	2.94
18	東海旅客鉄道(JR東海)	393	2.92
19	住友商事	380	2.82
20	三菱商事	353	2.62
21	ベネッセコーポレーション	352	2.61
22	伊藤忠商事	332	2.46
23	日本電信電話(NTT)	309	2.29
24	東京放送(TBS)	307	2.28
25	NTTデータ通信	298	2.21
26	ソニー・ミュージックエンタテインメント	297	2.20
27	講談社	291	2.16
28	東京電力	279	2.07
29	朝日新聞社	275	2.04
30	日本アイ・ピー・エム	269	2.00

1997年調査(1998年3卒対象)

順位	名称	票数	シェア(%)
1	ソニー	1495	7.88
2	日本電信電話	1216	6.41
3	日本交通公社	972	5.12
4	日本放送協会(NHK)	726	3.82
5	全日本空輸(ANA)	713	3.76
6	日本航空(JAL)	696	3.67
7	東京海上火災保険	654	3.45
8	三井物産	627	3.30
9	電通	605	3.19
10	三菱商事	603	3.18
11	東京三菱銀行	571	3.01
12	伊藤忠商事	534	2.81
13	東日本旅客鉄道(JR東日本)	530	2.79
14	セガ・エンタープライゼス	472	2.49
15	日本電気(NEC)	471	2.48
16	ソニー・ミュージックエンタテインメント	468	2.47
17	NTTデータ通信	456	2.40
18	ベネッセコーポレーション	452	2.38
19	博報堂	451	2.38
20	フジテレビジョン	445	2.34
21	日本アイ・ピー・エム	441	2.32
22	NTT移動通信網	421	2.22
23	住友商事	419	2.21
24	本田技研工業	415	2.19
25	東海旅客鉄道(JR東海)	406	2.14
26	講談社	397	2.09
27	第一勧業銀行	391	2.06
28	資生堂	387	2.04
29	アサヒビール	380	2.00
30	ワールド	370	1.95